

目次

大阪市立大学「地域連携センター年報2016」発行にあたって 1

組織・施設 1

2016年度地域連携事業の概要

地域貢献

大阪市との連携協定に基づく公共データ解析
～政策支援のシンクタンク機能の発揮～ 2

大阪市若手職員提案制度への支援を開始 3

西成情報アーカイブネット企画運営事業 4

大阪市博物館協会との博学連携事業 6

教員と学生による事例発表「第4回地域連携発表会」 8

2016年度 相談受付実績総括 9

公開講座

文化交流センター講座 10

市大×府大共同企画「ナレッジキャピタル超学校
グローバル化する公立大学 ～その実践と方法～」 11

近鉄文化サロン共催講座 12

朝日カルチャーセンター共催講座 12

第13回三大学連携事業「ウェルビーイング スポーツ文化と健“幸”」 13

大阪落語への招待 13

小中高大連携

第13回高校化学グランドコンテスト 14

化学セミナー ～ 高校生のための先端科学研修 ～ 15

「輝く未来の芽」小学校への出張授業 ～めきめきプログラム～ 15

大阪中学生サマー・セミナー 16

市大授業 17

COC事業

COC事業とCOC+事業の活動実績 18

2016年度 地域連携センター活動記録 20

2016年度 地域連携センター運営委員会委員 21

地域連携センター相談対応 22

大阪市立大学 相談申込書 23

※組織名や役職名は事業活動時点のもので表記しています。

大阪市立大学「地域連携センター年報2016」発行にあたって

平素より本学の地域連携センター事業にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
地域連携センターは、教育・研究と並び、大学の重要な使命である地域貢献を総合的かつ組織的に遂行するために2013年2月に開設されました。

この間、本学の地元である住吉区を含む近隣6区との間に連携協定を締結し、防災や情報アーカイブなどの事業を展開するほか、「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」およびその後継事業であるCOC+事業の推進等を通じて地域との連携を強化し、本学中期計画に基づき、地域貢献活動の「見える化」を図ってまいりました。また、2017年4月からは新たに発足した社会連携課が事務局を担当することとなり、窓口機能の強化に加えて各種機能の整理・見直しを目指しています。

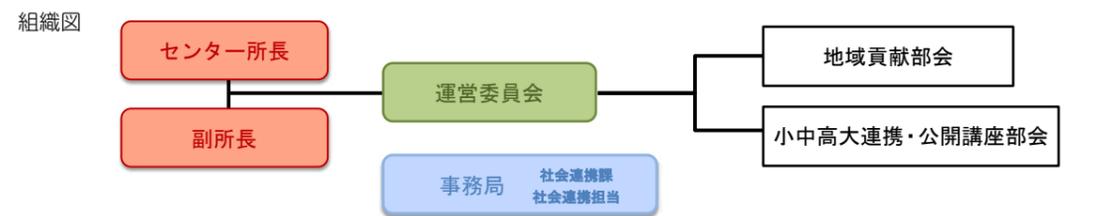
さて、本年報では「2016年度の地域連携事業の概要」として、部会活動で行っている（1）地域貢献、（2）公開講座、（3）小中高大連携、の3つの柱ごとに、1年間の取り組み概要をまとめています。ここでは、大阪市との連携協定に基づく事業やナレッジキャピタル「超学校」など新たな取り組みについても紹介されています。

本年報が地域連携センターにおける各種活動実績を記録する資料として、加えて、地域と大学のさらなる連携のきっかけとして活用していただけるものとなることを念願しています。

2017（平成29）年7月

地域連携センター所長 宮野道雄
（学長補佐（地域貢献担当））

組織・施設 (2017.7.1 現在)



センター外観



アクセス図：キャンパスマップ

